

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月26日		記入者	内線	3243
部 名	土木部	課 名	土木計画課	課長名	佐藤繁
事務事業名	災害時仮設トイレマンホール蓋整備事業				
予算上の事務事業名	災害時仮設トイレ用移動型人孔蓋整備事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23120		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第2施策 防災対策の強化				平成10年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	防災倉庫への災害用トイレマンホール蓋 配備計画		82の避難所倉庫及び4つの一般倉庫に災害用 トイレマンホール蓋を計画的に順次、配備・備蓄す る。		
計画年次	10	年度～	17	年度	
4 事業形態の区分 建築・整備・重要物品購入 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
地震災害時に避難所生活をしない被災者、いわゆる在宅被災者が生活する際、断水などによる家庭水洗トイレ使用不能に予め対処するため、市内全域の在宅被災者1000人に1つの割合で「災害時仮設トイレマンホール蓋」を計画的に防災倉庫に順次、配備・備蓄する。			直下型地震被害想定中、り災者のうち避難所に避難しない在宅被災者		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
災害時仮設トイレマンホール用蓋の配備 50組(2か所の一般防災倉庫に配備) 累計配備数 480組(内訳:80か所の避難所倉庫に各5組で400組、3か所の一般防災倉庫に80組) 全体配備計画数530組、17年度で完了予定。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他市において下水道マンホールを利用した仮設トイレは、公園等の公共施設に集中的に貯留型のトイレを配備しているところのみであり、本市のように道路上のマンホールへの設置を目的とした例がない。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	10,407	7,198	5,871	5,911	0
一般財源	5,907	3,600	2,971	3,711	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	4,500	3,598	2,900	2,200	0
人件費の合計	839	801	807	807	0
事業コスト合計(a)	11,246	7,999	6,678	6,718	0
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	災害時仮設トイレマンホール蓋整備事業		対象名称 (単位)	配備数(組)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	11,246	7,999	6,679	6,718	0
対象数	71	55	50	50	0
単位あたり経費(円)	158,394	145,436	133,580	134,360	#DIV/0!
前年度比		0.92	0.92	1.01	#DIV/0!

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	新規配備数	指標式と指標の説明		配備数量(組)	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	71.0	55.0	50.0		
目標	71.0	55.0	50.0	50.0	0.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	配備率	指標式と指標の説明		延配備数 / 全体配備計画数 * 100 計画に対する配備割合	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	70.8	81.1	90.6		
目標	70.8	81.1	90.6	100.0	0.0
目標達成度	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		在宅被災者の生活に欠かせない仮設トイレを必要数配備することは緊急かつ重要な課題であり、17年度の完了に向け引き続き配備を行う。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 平成17年度で配備が完了予定であり、避難所担当職員等への講習等を実施し、災害時における適正な利用を図る。			14 課題として認識されたこと 配備されたトイレマンホール蓋について、住民への周知。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			